

●第58号(一九七八年六月)

特集・都市における資料館

横浜の資料館像

遠山茂樹

座談会開港資料館と市民・運営法に望む

中村紀一

開港・明治期の横浜資料

山本健次郎

①開港期の横浜内外資料

石井孝

②明治期横浜の貿易とその資料

山口和雄

横浜の開港と町づくり

田村明

日本の文書館

青木虹二

外国の文書館と海外資料

米川伸一

①英米の史料館

米川伸一

②ジャーディン・マセソン商会文書のことども

服部一馬

行政研究

二つの文書館・藤沢・埼玉両文書館の实情

青木虹二

横浜市の文書保存管理について

いくつかの

問題点と改善の方向

高木邦雄、外

福祉の町づくりとその課題

杉山彰

行政資料 横浜開港資料館設立に関する中間報告

文献紹介

最近のアメリカの都市政治研究の動向(上) 鳴海正泰

●第59号(一九七八年九月)

特集・横浜の緑と保存

都市における緑

小沢忠一

防災と都市緑地 災害対策における緑とオープン

川名俊次

スペースのかかりあい

川村優子

都市の生態系と緑

内山和年

都市農業を考える

片田卓夫

緑の保全と創造

片田卓夫

都市公園の体系的整備 将来必要な公園を今から

どう確保するか

小泉信三

西欧都市の緑

福田隆蔵

横浜の緑と市民

浜中学

①郷土の生物教材を生かした自然保護教育

鈴木丈夫 横山賢太郎

の学校林経営

石川幾太郎

②横浜の郷土と緑

石川幾太郎

行政研究

横浜の緑と市民の意識

中林博志 伊藤正夫

「横浜都市圏」の地域特性

システム分析手法研究会

文献紹介

最近のアメリカの都市政治研究の動向(下) 鳴海正泰

●第60号(一九七八年二月)

特集・横浜の盛り場

都市に住む人と盛り場

高萩盾男

商業からみた横浜の盛り場

小林知一郎

ハマの盛り場

白神義夫

盛り場と街づくり

脇田園子

商店街とまちづくり ミニ再開発をめぐる

前田寿

盛り場であった伊勢佐木町 横浜盛り場小史

神笠起康

盛り場の文化的コミュニケーション 盛り場文化論

菅野拓也

暮らして わがまち野毛 酒場日記から

杉本良夫 多根雄一

行政研究

土地区画整理制度と街づくり 新本牧地区開発の意

義と街づくりの考え方

蒲谷茂 守英雄

区におけるひとつの試み 「港北区民生活実態調査」

に関連して

佐々木寛志 川人政憲 丸木茂

新書紹介

都市は未開である マチノロジの周辺領域 多根雄一

●第61号(一九七九年三月)

特集・地域施設の管理・運営

望ましい地域施設の運営を求めて

大森新一

現状の問題をみる その1「地区センター」

①地区センター管理運営の現状と課題 齊藤忠義

②公立民営の地区センターその実態と問題点 松田栄吉

現状の問題をみる その2「市民の森」

①愛護会組織の現状と課題 九鬼博 相良逸郎

②市民の森を管理して「上郷市民の森」の管理体験

から 森不二夫

現状の問題をみる その3「児童公園」

①児童公園の現状と問題点 小島勝

②児童公園の清掃活動 伊賀山公園愛護会 小山内信之助

③コミュニティの道路と公園 ドナルド・J・ハイバック

都市公園管理の諸問題と安全性 山田栄雄

『グラクタ広場』実験記 宮本次郎

まちづくりの核としてのコミュニティ施設 奥田道大

行政研究

都市施設としての墓園 小沢琢磨 斉藤久司

中国の都市計画・建設 立花誠 辻泰三 原田陽一 牧野和敏

広報活動の現状と広報物登録制度 重村達郎 山口寿明

新書紹介

都市テモクラシー 横山悠

昭和54年(1979年)6月30日

編集・発行——横浜市都市科学研究室

横浜市中区港町1-1

電話——045・671-2011・2029 郵便番号——231

印刷——西岡印刷株式会社

横浜市南区吉野町5-22

## ●横浜市のデータ

人口——2,752,313人<54.5>

世帯数——823,286<54.5>

面積——426.47km<sup>2</sup><54.5>

小学生数——282,427人<54.5>

中学生数——104,779人<54.5>

幼児数(0~5歳)——279,885人<53.5>

小学校数——280校(含分校2)<54.4>

中学校数——106校<54.4>

幼稚園数——328園(含県立1)<54.4>

保育所数——207ヵ所(公立103・私立104)<54.6>